



真宗大分

平成二十一年度

執務方針

大分教区教務所長 寺井紹道

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われておりますとおり、過ぎやすい季節となりました。大分教区の皆様におかれましては、ご健勝にてご精励のこととお慶び申し上げます。

また平素より、ご法義・お念仏繁盛並びに教区発展と基幹運動推進にご協力賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

寺は風景である

昨年のサブプライムローン問題に端を発した経済危機は雇用・就職問題に影響を与え、それに加え環境問題や少子高齢化、政治不信など様々な問題が顕在化し、不安な社会情勢となっております。

「寺は風景である」と言われて久しいのですが、その謂われは寺院・念仏者が地域社会や世の中、人間の諸問題などに役割を果たしていないという厳しい指摘であります。

安穏な世界

ご門主さまは「親鸞聖人七百五〇回大遠忌についての消息」において、地球上のあらゆる生物、非生物は繋がりを持つという縁起観にたつて、阿弥陀如来の智慧と慈悲とに照らされ包まれ、いのちあるものが敬い支え合つて、往生浄土の道を歩むことにより、心豊かに生きることでできる世の中、平和な世界を築くために貢献することの大切さを教示くださいました。

心豊かに生きる

さらに、新しくご制定いただきました「浄土真宗の教章(私の歩む道)」で私たち宗門の有り様として、「親鸞聖人への教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」とお示しです。

一歩でも前に一伝道を一

私たちは、このお心を体して、現代社会の諸問題を自らの課題として、積極的な伝道活動を展開し、「御同朋の社会をめざして」を目標に基幹運動を推進しなければなりません。ご消息や教章のお心に応えるべく、一人ひとりが手を携えて、一歩でも前に進むよう決意を新たにします。各地域・各組・各寺院の声に耳を傾け、諸問題の解決のために皆様のご指導・ご協力を賜りながら取り組んで参りたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

第125号
創刊 昭和41年8月
発行所
大分教区基幹運動
推進委員会
〒874-0920
別府市北浜3丁目6-36
本願寺別府別院内
TEL 0977-22-0146



光淳新門さま

光淳新門さまが ご巡回・ご巡拝

大谷光淳新門(31)さまが全国の教区巡回・直属寺院巡拝を行っておられます。山科別院では門信徒に「家族一緒にお寺にお参りいただき、浄土真宗のみ教えを聴聞してください」と語られました。

巡回・巡拝は親鸞聖人七五〇回大遠忌に向けて宗門を盛り上げ、僧侶・門信徒との交流を深めると言われています。二〇一〇年三月までに全国の五九カ所を巡回・巡拝される。大分教区は、次の通り。

9月28日(月)
大分教区ご巡回
別府別院ご巡拝
9月29日(火)
四日市別院ご巡拝
(詳細は後日決定)



新門さまが 築地別院副住職着任

光淳新門さまが東京・築地別院副住職にご就任され、一年余が経過しました。その間「流豆美新裏方さまとともに首都圏を中心に活動」いただいております。着任式で首都圏で「多くの方にお寺に親しいいただき、み教えを聞いていただく環境」を整え、

都市開教布教所ご視察

二〇一〇年(平成二二)年にお迎えする親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に向け、一人でも多くの方にみ教えを聞いていただく、お寺が生きるよりどころとなるよう努めてまいります」とのお言葉を述べられました。

寺院のあり方

「寺院は僧侶が修行をしたりに単に住居とする場ではありません。ご門徒様をはじめとする多くの方々に来ていただき、み教えを聞いたり、さまざまな活動をしていただく場であります」と述べられたと中外日報二〇〇八年四月二六日は報じています。

光淳新門さま略歴

- ・1977年大谷光真ご門主のお子さまとして誕生
- ・1992年得度、新門に就任
- ・2000年法政大学法学部卒業
- ・2005年龍谷大学大学院(真宗学)単位取得
- ・2005年流豆美さまとご結婚
- ・2008年築地別院副住職就任

基幹運動のページ

大師号

前号で「大師号については次号」と記しましたので、今号は大師号について触れていきます。

「僧侶に号を賜ふことは、其の種一ならず。単に諡を賜ふことあり、大師号あり、菩薩号あり、禅師号あり、国師号あり、和尚号あり、人号あり。要するに其の徳を尊尚するの意に外ならず、而して天皇の師たるを以て主とすれども、多くは其の徒の請ふ所に出づるなり」(『故事類苑』)とあるように、「諡号」の多くは願い出てそれを許可(勅許)されて追贈されているようです。そこで、見真大師の追贈までの歴史を簡単に表にまとめてみました。宗祖500回忌に間に合うよう、記録に残っているのは1754年から願い出がはじまっています。その発端には色んな意味合いがあったと推察されますが、あえて触れずに、その年から120年を経て、「見真」の大師号が追贈され

たのです。その追贈決定にも明治新政府の思惑がからんでいたのでしょうか、ここも今回は触れず、年表から、先人の歩み・思い・願いを読みとっていただきたいと思います。

ちなみに表には記載していませんが、「諡号」の一つである、「上人」号は、本願寺第5代純如が、後小松天皇より「周円上人」を賜ったとされています。

御影堂のご修復も完成し、ご動座法要も勤まり、いよいよ750回大遠忌法要をお迎えするばかりの時、「見真」の勅額をどうするのか。の事も聞こえてきます。まずは、素直に歴史を見たいとの思いから、年表という形でまとめさせてもらいました。「大師号」「勅額」とともに、それぞれの場で議論が深まることか大事ではないでしょうか。

※年表の作成については、『教化研究』133号・134号(真宗大谷派教学研究所・刊)をもとにいたしました。

◆◆◆◆ 大師号関連年表 ◆◆◆◆

1754 (宝暦 4)	5月頃 東西本願寺 それぞれに大師号勅許を内々に願い出る 9月 表向きに願い出ないよう差し控えるべしの幕府の意向
1758 (宝暦 8)	東西本願寺 大師号勅許を幕府に願い出る
1761 (宝暦11)	宗祖500回忌
1804 (文化元)	4月 東本願寺、宗祖の大師号宣下を請う 5月 大師号は老中では取り扱えない旨、勧修寺家から東本願寺に通達
1808 (文化 5)	西本願寺・専修寺・仏光寺、宗祖の大師号宣下を請う
1809 (文化 6)	12月 京都所司代より、大師号内願は困難の旨の幕府の意を東本願寺に通達
1811 (文化 8)	宗祖550回忌 6月 東本願寺、大師号宣下について、近衛家・所司代酒井氏らに斡旋を依頼
1861 (万延 2)	宗祖600回忌 東本願寺嚴如上人 朝廷・幕府に対して「諡号ヲ得ン事ニ奔走」する
1876 (明治 9)	11月28日 宗祖に「見真大師」追贈
1879 (明治12)	9月29日 東西本願寺に「見真」勅額下賜
1880 (明治13)	仏光寺、専修寺、興正寺(1881?)に勅額下賜
1881 (明治14)	4月 4日 東本願寺、慧燈大師号宣下につき親諭ある
1882 (明治15)	3月22日 蓮如上人に「慧燈大師」追贈 山科の蓮如墳墓の地が東西本願寺へ下賜 慧燈大師諡号宣旨の両山交替保管決まる 宣旨(せんじ・天皇の詔を書いた文書)は、東西本願寺で交互に保管するように命じられ、保管交替にあたっては、勅使門から宣旨を送迎する「宣旨の奉送迎の儀」が行われた。
1981 (昭和56)	6月11日 東本願寺、新『真宗大谷派宗憲』を公布・施行。見真大師号及び大師堂の名称を使用せず
1984 (昭和59)	4月 1日 東西本願寺、「宣旨の奉送迎の儀」をこの年から中止 宣旨は西本願寺にて保管
2001 (平成13)	7月 1日 東本願寺、授与物の宗祖聖人御影名称を改正「見真大師」「慧燈大師」「圓光大師」の名称使用を取りやめる
2008 (平成20)	4月 1日 新『宗制』施行
2008 (平成20)	4月15日 『浄土真宗の教章(私の歩む道)』制定

「地域法座を通して お念仏の輪を」

各組
めぐり
⑬
下毛中組

◇真宗教会の活動

下毛中組は、大分県北部に位置する中津市と宇佐市にある14カ寺により組織する組です。昔から豊前門徒といわれる上毛組をはじめ、中津組、耶馬溪組、宇佐組が隣組であります。そこで毎年、三組合同仏研修会(耶馬溪組、中津組、下毛中組)や四組対抗親睦球技・囲碁大会(上毛組、中津組、宇佐組、下毛中組)などを開催し、交流を深めています。

下毛中組の活動の特色といえば、何といても明治24年に発足した真宗教会という組織が挙げられます。明治初年、日本の人口は、3000万人と言われています。明治7年太政官令によって日本全国の人口調査が布令され、この時の調査によると、全人口が3300万人と数えられています。そして、真宗教会が、全

國的に組織された明治24年頃の日本の人口は、4000万人となつています。時は神仏分離政策による廃仏毀釈、キリスト教解禁による布教伝道と慈善事業と内外ともに教団を問わずにはおれない時代でした。

時、同じくして、豊前門徒のひとり小今井乗珪は、仏教の前途を憂い、明治12年に一人で浄土真宗の私立の大教校を設立しました。小今井乗珪校と名称して講堂と学寮もち、緇素3000人が学んだと碑文には記されています。

また明治17年に全国的に飢饉が起こると、2年間にわたり無制限炊き出しを実施するとともに、施米も行っています。さらに並行して私費を持って施療院を建てて困窮者の救済にあたっています。

そこで、明治、大正、昭和、平成という時代にわたりお念仏を相続してきた多くの真宗

門徒の思いや遺徳を偲び、下毛中組では、春には、寺院回りの会所にて真宗教会追弔会を毎年4月29日に組内法中を布教使して開催しています。またその前日の28日には、教務所による組巡回(下毛中組では組講座)を総代・仏婦・門徒幹部を対象に実施しています。本年は、法行寺様において開催し、多くの方々のご参詣と組巡回へのご参加をいただいたところです。また、秋には毎年、8月29日～31日の3日間昼夜にわたって真宗教会大挙伝道として、21会所に出講して法座を開いています。それぞれの地区のお世話人が、中心となって準備から聴聞の声掛けをしてくださっています。お聴聞の機会として自ら教えを聞き、教えに生きる僧侶・門信徒になることをめざし、お念仏繁盛の種子まきをし、お念仏の輪を広げてくださいました。この真宗教会も今年で121年の歴史と伝統を築くとともに、途切れない法を121年相続させていた

だいたことになりました。誠に有難いことだと思っております。平成20年度の参詣者数は、お

よそ650名ほどでした。20年前には、1200名以上でした。この20年間で半減したことになります。真宗教会創設時には、真宗教会会員名簿があり、お世話人も多く、それぞれの会所の仏間には溢れるほどのお参りがあつたと老院さんたちから聞いています。しかし、現在は、地域によっては「過疎・少子高齢化」といった社会構造の急激な変化により、お世話人の高齢化に伴い、法座の開催が難しい状況の地区も出てきているといった実態があります。今後これについてどう組として対処していくかが課題となっております。

◇ビハーラ研修会の立ち上げ

立ち上げ

下毛中組では、2年前にビハーラ研修会を立ち上げました。ビハーラ大分の後援を受け、一昨年は、田畑先生、藤富先生、また、昨年は、田畑先生、山岡先生を講師としてお招きし、総代さんをはじめ仏婦や若婦の方、その他門信徒の皆様方多くのご参会を得

て、医療現場の実情をお聞きし、ホスピス活動の必要性、終末期の患者さんへの看取り、早くからの仏法との出会い、間に合うことの大切さ等について研修を深めることができました。下毛中組のビハーラ研修の新たな一歩を踏み出したところです。今後も地道に研修を継続していくことを確認し、本年は、滋賀医科大学の早島理先生をお迎えして10月3日に開催するように決定しています。

◇終わりに

現在、組としては平成23年の親鸞聖人750回大遠忌法要に向けての気運を盛り上げるべくお待ち受け法要を村上智真師、ちひろさん、姜暁艶さんをお迎えして本年11月14日の開催に向けてのおおよその概略も決定しています。また団参計画についても基本行程も決まり、春秋2回(4月・11月)350名の参拝に向けて組内法中も今動き出したところですので。

本願寺別府別院親鸞聖人750回大遠忌法要

4月8日、本願寺別府別院本堂にて、親鸞聖人750回大遠忌(お待ち受け)法要が修行され、教区内から僧侶、門信徒、別院門信徒約100名が参拝されました。

雅楽の演奏の中、全員で正信偈(奉讃大師作法)のおつとめがされ、引き続き寺井紹道輪番により親鸞聖人750回大遠忌法要のご消息が拝読されました。

記念法座では、山口教区深川倫雄和上をお招きし、聖人のご遺徳を偲びつつ、阿弥陀如来様のお救いについてのご法話を聴聞しました。

別府別院では、創建当時温泉地という立地的立場から、観光客、温泉入湯者の多い、毎年4月4日から8日まで報恩講が修行されています。



およろこび記事

〔法 要〕

玖珠組 尊光寺

3月22日

住職継職法要

親鸞聖人750回忌大遠忌

お待ち受け法要

「正信念仏偈作法第二種」

講師 工藤至心師

(浄専寺)

おくやみ

次の方々がご逝去されましたので、生前のご苦労を偲び謹んで敬弔の意を表します。

○上野 敬造(平20・12・31)

豊後高田組 興隆寺 衆徒

○久保田信雄(平21・1・3)

日田組 西教寺 衆徒

○藤澤スエ子(平21・1・9)

宇佐組 浄専寺 前坊守

○杜多 鈴子(平21・1・12)

由布院組 西蓮寺 前坊守

○本多 美智(平21・1・24)

臼佐組 光蓮寺 前坊守

○神力 早見(平21・3・23)

宇佐組 長安寺 前坊守

○林 孝道(平21・4・7)

臼佐組 真宗寺 前住職



編集後記

「何事も頑張るのが基本でしようし、頑張れと言ってくる人に悪気はない。でも、そうは知りつつ頑張りきれない場合もある。そう言われると傷ついてしまう人も世の中には少なくないんだなと思つた時に、これを歌おうと思ひましたね」。吉田拓郎は、先日(四月十五日)発売になつた六年ぶりのオリジナルアルバム『午前中に』の一曲目「ガンバラナイけどいいでしよう」についてそう言つた。

(毎日新聞二〇〇九年四月十六日・東京夕刊) ●いつくらいからでしようか。「頑張りすぎの日本」とか「頑張りなくていいんだよ」とテレビや新聞や雑誌などにあふれはじめたのは、ホツとした人もいてでしようし、「頑張る」ことが悪いことなのかと思つている人もいてでしよう ●「がんばらないけどいいでしよう 私なりでいいでしよう がんばらなくてもいいでしよう 私なりのペースでもいいでしよう」と歌い、そして「がんばれないけどいいでしよう 私なりでいいでしよう」と終わっています ●頑張らない私と頑張れない私。曲をゆつくり聴いてみましょう。